

会 議 録

会議名	平成 23 年度第 3 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 23 年 12 月 18 日（火）午後 6 時 30 分～8 時 25 分	
開催場所	八王子市郷土資料館集会室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、柿崎博孝、田野倉宏和、田村知美、西嶋佳子、深栖義昭、藤岡換太郎、山中幸生、吉田幸子、（50 音順）
	事務局	齋藤和仁生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館担当）・田島巨樹郷土資料館長（文化財課長）・森融こども科学館主査・戸井晴夫郷土資料館主査、尾崎光二郷土資料館主査
欠席者		
議 題	協議事項 1. こども科学館及び郷土資料館の事業実施状況（4 月～11 月）について 2. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ こども科学館事業実施状況 ・ 郷土資料館事業実施状況 	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>八王子市こども科学館の事業実施状況と施設評価について齋藤こども科学館館長から説明。つづいて八王子市郷土資料館事業実施状況について田島郷土資料館長から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>小野会長 事務局からの説明がありました。こども科学館の方は、プラネタリウムと学校連携がこれからのキーワードかと思いました。郷土資料館の方は、展示会開催によるリピーターづくりと広報活動戦略により、両館ともに良い成績を残せたということでした。御意見をいただきたいと思います。</p> <p>小野会長 田村委員</p> <p>田村委員 八王子の絵図展を興味深く、大変楽しく見る事が出来ました。しかし、来館してもらうためには、南口の総合事務所を活用した展示とか、工夫も必要と感じました。</p> <p>田島館長 総合事務所の交流スペースの活用についてですが、今年度、セピア色の風景というパネル展を開催しました。その後、交流スペース担当と活用について意見交換もしました。展示ケース等の設置がありませんので、セキュリティーの問題もあり、実物資料を展示することは難しいですが、写真等のパネル展の開催をしていきたいと考えています。</p> <p>展示についてですが、展示には、常設展示と特別展示があります。常設展示では、2階展示室は学校の社会科見学への対応を考えて、通史展示を基本としていますが、近代の「仕事や生活の様子」と子どもに関係の深い「学校生活や遊び」に重点を置いた展示をしています。1階の展示室は大人を対象に、通史展示を基本に、「八王子城」や「八王子千人同心」等、八王子の歴史の中で中心となる内容に重点をおいた展示をしています。展示室がもっと広ければ、「古代展」や「戦国展」といった内容に特化した展示コーナーも設けることが出来るのですが、現状では難しい状況にありますので、特別展という形で提供しているところです。現状の展示スペースを有効に活用した内容の展示を検討しながら進めているところです。</p> <p>小野会長 山中委員</p> <p>山中委員 特別展「八王子の絵図」を楽しく見させていただきました。その時、現在の地図と比べてみる事が出来たらさらに良かったと思いました。私も八王子にはゆかりがありますが、現</p>
-----------------------	---

	<p>在は住んでいないため、おぼろげな記憶でたどりながら見比べました。八王子市民以外の方が来たときに、現在の様子で見比べることが出来ると、もっと楽しめるのではないかと思います。今後予定されている「双六展」や「八王子と鉄道」の企画展も八王子市民だから楽しめるだけではなく、八王子を訪れた人も見やすく、楽しめるような展示を心掛けたら良いと思いました。</p> <p>田島館長 「双六」は、昭和初期の商売繁盛双六でして、当時の八王子のお店の名前が載っていますで、懐かしみながら楽しんでいただけたと思います。広報にカラーで掲載して周知しています。特別展「八王子と鉄道」についても他市からも来ていただこうと思ひまして、新聞社へも掲載のお願いをしていこうと考えています。来館者に満足いただけるような展示になるように進めています。</p> <p>小野会長 大村委員</p> <p>大村委員 特別展「八王子の絵図」は、大変良かったです。展示図録の出来も良く、八王子に住み始めてから20数年になりますが、八王子について興味がわきました。代々八王子に住んでいる友達に見せたところ大変気に入らして、お貸ししました。友人は、「お爺さんはこの辺りに住んでいた」とか話しながら家族とご覧になったというお話を伺うと、八王子の街を身近に感じているように思いました。元々八王子に住んでいた人は、資料を見ることで、郷土資料館を身近にすることが出来ます。私のように長く住んでいると郷土資料館の展示などに接することで、八王子は歴史があつて、「織物で栄えた街」、「絹の道があつた」ことが分かり、だんだん住んでいて良い街になってきます。八王子という街は、移り住んできた新しい市民の方が多くなっています。私もそうだったのですが、移り住んできた市民の人は、住み始めたころは自分の生活だけで街のことにはあまり興味がありませんので、郷土資料館の資料の公開の機会を多くしていただき、分かりやすく展示して下さるよう希望します。もう一点、絹の道に行くため、インターネットで調べたのですが、絹の道資料館を管轄しているのがどこなのか分かりませんでした。建設中の八王子城跡のガイダンス施設も管轄が分からないので、分かりやすくした方が良いと思います。</p>
--	--

	<p>田島館長 八王子城跡のガイダンス施設や絹の道資料館は、文化財課が管理しています。文化財課には、本庁舎にある文化財担当と郷土資料館担当とがありまして、文化財担当が絹の道資料館と八王子城跡のガイダンス施設の管理を担当しています。文化財担当にも学芸員がおりまして、絹の道資料館に出向いて説明することもありますし、絹の道に関しては、郷土資料館に問い合わせいただいてもお答えすることができます。問い合わせ先については、ホームページの最後に掲載しておりますので、ご活用ください。</p> <p>西嶋委員 今日特別展「八王子の絵図」の解説を聴きながら見学できて、大変良かったです。普段もボランティアや学芸員の解説があると展示をもっと面白く興味深く見ることが出来ますし、郷土資料館に親しみを持っていただけたらと思います。また、講座「八王子の歴史入門」を受講していますが、発掘調査なども行われているということでしたので、一般市民の方は興味を持って実物資料を見ることが出来ないの、ある程度形となっている資料は公開出来たら良いと思います。難しい面もあるでしょうが、年に一度くらい発掘資料の展示会を開催していただけたら良いと思います。</p> <p>田島館長 来館者への解説ですが、特別展開催前に、ボランティアには、特別展の展示資料について展示のねらい等を説明し来館者の期待に応えられるようにしています。また、ボランティアと学芸員は来館者にお声掛けをするようにはしていますが、希望されない方もいますので、難しい面もあります。発掘された資料の展示については、来年度の新しい取り組みとして考えています。</p> <p>大村委員 先日、船田遺跡に行ってきました。その時、場所が分からなかったの、交番で場所をたずねましたが、「分かりません」と答えが返ってきました。地図を調べたら近くにありました。交番でも分からないくらいなので、知られていないと思いました。行ってみるとなにもないので、せめて、交番や地元の人達分かるようになって良いと思いました。</p> <p>田島館長 船田遺跡につきましては、発掘状況を記録保存し、現在はグラウンドになっています。大理石の塔に船田遺跡という表示がされているだけになっています。将来、発掘された資料による展示を行い紹介出来たら良いと思います。</p>
--	--

	<p>山中委員 プラネタリウムについてですが、前回、観覧したディープワンダーのお客さんの評判についてお聞かせください。</p> <p>齋藤館長 キャラクターとして有名なポケモンには、数字的には及びませんが、御覧頂いたお客様からは非常に好評で、幅広い世代の方に観ていただいております。今までの番組で大人の方に多く来ていただいたのは「銀河鉄道の夜」で、大人だけで来られる方が多かったのですが、ディープワンダーは大人だけで来る方も子ども連れで来る方も多く、幅広い世代の方にご覧いただいております。</p> <p>山中委員 せっかくのオリジナル作品なので、来館者数だけにこだわるのではなく、内容とその評価を大事に、オリジナルで作っていることの意義を考えて、今後も続けていってほしいと思います。</p> <p>齋藤館長 館としては、集客ということを考えていかなければなりません。館の意義として提供していかなければならないものは続けていこうと考えています。ディープワンダーも反省すべき点は反省し、今後もより良いオリジナル作品を作りたいと思っています。</p> <p>藤岡委員 ディープワンダーについて、はまぎんこども宇宙科学館に行ってきました。そこでも、ディープワンダーを投影しています。年間の入場者数は二十八万人で桁違いに多いです。そこでもハヤブサに比べると入場者数は少ないが、お客さんの評判は、内容が「面白い」、「充実している」、「内容は良いが難しい」という感想が多く、観た人は大体満足しているという評価です。この作品は私の監修ですが、私自身は、キャラクターの問題や映像が悪すぎるという評価です。もっとケアしなければいけなかったと考えていますが、せっかくのオリジナル作品なので続けていきたいと思います。</p> <p>郷土資料館の企画展についてですが、たとえば絵図についても絵図がどういう意味を持っているのか説明がほしいと思いました。八王子の特定の地域の絵図であればその存在する意味は何なのか。現在と比べた時にその変遷となぜ変遷してきたか、なぜこの絵図が重要であるかの説明が必要だと思います。</p> <p>吉田委員 こども科学館にですが、4年生と6年生が見学するということですが、生徒たちの反応をどのようにとらえていますか。</p>
--	---

	<p>齋藤館長 今年から 6 年生のバスも用意することになりましたが、昨年度には、メニューが出来上がっていましたので、バスの用意はなかったが、メニューの準備はあると説明していましたので、6 年生が来館する学校もありました。4 年生で来た子どもが 6 年生になって来た時に、どのような反応を示すかを見ていました。2 年ぶりに来たので「懐かしい」、「このところが変わっている」というような話を子どもたちはしていました。また、去年は徒歩で来る学校が多かったことから近所の子が多く、土曜日などによく来るなじみの子が多く来たという特徴がありました。今年は、多くの学校に来ていただいておりますので、来る機会のなかった子に来てもらっています。4 年生で来て久しぶりに 6 年生になって来たら、また違った楽しさがあることを見つけている子もいます。当館の課題としては先細りと言うことがあります。これは当館に限らず、高学年になると忙しくなり、5 年生くらいを境にイベントへの参加者が少なくなります。中学、高校へと進むなかで減ってしまうことは、ある面では仕方がないことなのですが、科学に興味のある子は残って行って、科学に対する眼は育てていきたいという思いは持ち続けています。その面では、6 年生にもう一度必ず来てもらえるというのは、もう一回興味を持ち、前に見たときとは違うように感じ、受け止めてもらえることは、子どもにとっては良いことだと感じています。</p> <p>吉田委員 なぜ、質問したかという、今の子どもたちはじっくり観るということに欠けていると思うからです。これからの勉強のなかではじっくり見せたい、じっくり観ることで、喜びが倍増します。「自分を発見する体験」をさせたくて、実物を見せに来る訳です。科学館も資料館も子どもたちに投げかける言葉みたいな表示がほしいと思います。館から発信するキャッチフレーズがあると館が学校に求めていることが伝わり、生徒や先生の受け止め方も違ってくると思いますので、キャッチフレーズを検討してください。</p> <p>田野倉委員 プラネタリウムを観た後の滞在時間はどの位でしょうか。</p> <p>齋藤館長 1 回目では、多くの学校が、終了後 1 時間程度、体験をしてから帰っています。学校の利用は、団体利用時間に利用していただいています。午前中に 2 回、9 時 30 分と 10 時 40 分の投影をしまして、1 回目の利用では、終了後に 1 時</p>
--	---

	<p>間程度、2 回目では投影前に 1 時間程度見学、体験をしていただいています。八王子の場合は児童・生徒数も多いので、学年をまとめて、一つ一つの展示物を順番に案内して、説明していくことは出来ませんので、入り口で全体のことを説明した後で、質問があればひとりひとりに対応するという方法で行っています。</p>
田野倉委員	<p>ボランティアとして得意な分野を説明することは出来るのでしょうか。</p>
齋藤館長	<p>ボランティアとして参加いただくことは、出来ます。</p>
西嶋委員	<p>小学校の先生が理科の実験が上手くいかないことがあると聞いたことがあります、先生にも得意な分野、苦手な分野があると思いますので、理科の実験が苦手な先生に理科の実験方法を教える等、先生をフォローする取り組みがあったら良いと思っていますのですが、何か検討してください。</p>
齋藤館長	<p>分かりました。</p>
藤岡委員	<p>南口総合事務所で開催しているパネル展についてですが。会場の広さと使用料については、どうなっていますか。</p>
田島館長	<p>広さは 135 m²で、使用は無料です。</p>
藤岡委員	<p>ここを利用すべきだと思います。子ども科学館も郷土資料館も駅から遠いので、行ってみたいと思わせるようなミニ企画展を開催したら良いと思います。</p>
田島館長	<p>重要な場所と思っているので、郷土資料館としても積極的に活用していきたいと考えています。</p>
山中委員	<p>今日は来るのにバスを利用しようとしたのですが、まったくここに来るためのルートの説明が無いんですね、バス停で探してもルートが分からないので歩いてきました。南口でパネル展示をやることは良いことなのですが、南口の展示が郷土資料館の展示に興味を持ってもらい、お客さんを誘導するためのサブ展示でなければいけないと思います。南口の展示を観て「楽しかった」で、帰ってしまうのであれば、集客ということを考えると意味が無いです。また、サブ展示と郷土資料館を連動させることを考えると、南口に誘導させる案内図や次の企画の案内をすることも考える必要があると思います。具体的には、行き方を説明したり、歩いて 15 分程度なので、歩いて行きたくなるような誘導の仕方を考えたりした方が良いと思います。八王子市が運営する施設ですので、八</p>

	<p>王子市のネットワークを活用していくことで効果を上げることが出来ると思います。</p> <p>田野倉委員 郷土資料館の特別展「八王子と鉄道」に期待しています。船森公園近くにあった東八王子駅など懐かしく思い出されませう。今回の展示では写真だけではない展示をお願いします。</p> <p>大村委員 宇宙の謎を知る旅という番組が 1 回だけの上映のようですが、これからの投影計画をお知らせください。</p> <p>森主査 この番組は、以前に上映していた番組です。機器を入れ替えたときに、デジタル化をしまして団体見学の際に希望で投影する番組に入っています。</p> <p>大村委員 一般の市民は観ることが出来ないということですか。</p> <p>斎藤館長 団体のお客様については、投影できる番組を紹介して選んでいただいています。今までは、平日の午前中はそのほとんどが子ども関係の団体であったため、この番組が選ばれることが無かったのですが、大人の団体のお客様が予約され、この番組を選ばれたということです。</p> <p>小野会長 今年には震災があり、プラネタリウムのリニューアルから時間も経過して来ている中で集客数を伸ばしている。また、郷土資料館も市民会館の移転があつたにもかかわらず、このような結果を得ているということは良い傾向だと思います。世間的には、博物館、美術館についてあまり良い話は聞かない。都内の博物館、美術館 40 館程で構成しているグルットパスというのがあります。今年度の上半期のグルットパスを利用した入場者数が対前年度比 24%減というデータが出ていますので、世間的にはそういった状況の中で、こういった結果を出せるということは大変な努力があつたということだと思います。ただ、数だけではなく、こういった施設の存在意義をどうアピールしていくかということもやって行かなければならないことです。プラネタリウムの方は、学校連携が上手くとっているようですが、教員向けの対応が望まれているということがあります。すでに対応をしていると思われませんが、よく上がるのが、理科の先生には、物理や化学系の人が多くて天文は苦手という人が多い、そういった人に向けたアピールとともに学習方法のガイダンスの意味合いでプラネタリウムや科学館が教員研修という形で大きな役割を果たすべきかと思っています。群馬県のプラネタリウムでは行っているという</p>
--	--

ことなので、今後団体見学とともに教員研修という役割を果たせるのかと思いました。郷土資料館の方は、今回の特別展はテーマ、資料ともに良いのですが、もう一つの展開がほしかったと思いました。資料をどうやって観て、楽しめば良いのかと一步踏み込んだ展示を期待します。

特に意見が無ければ以上で、第3回八王子市博物館協議会を終了します。